

大阪府景気観測調査結果

平成26年4～6月期

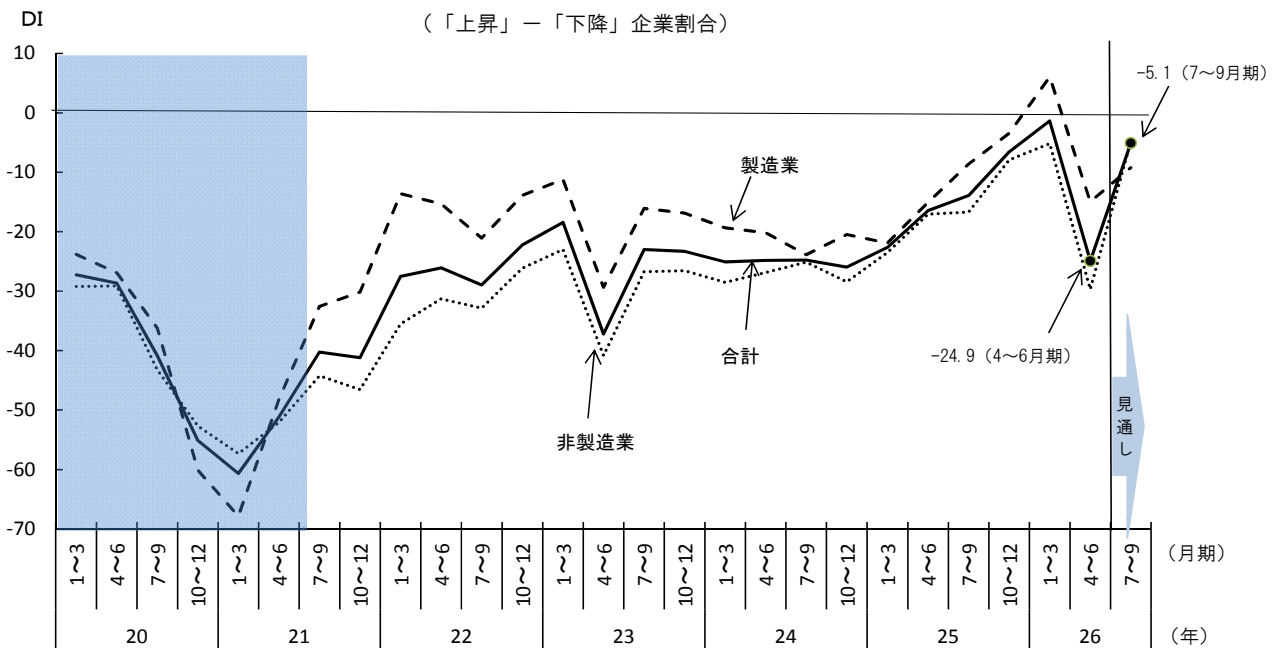
《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。 <http://www.pref.osaka.lg.jp/aid/sangyou/keikikansoku.html> 》

商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪市と協力して景気観測調査を実施しております。平成26年4～6月期の調査結果の概要は次のとおりです。

【景気は、一時的に悪化するも、回復基調が続く】

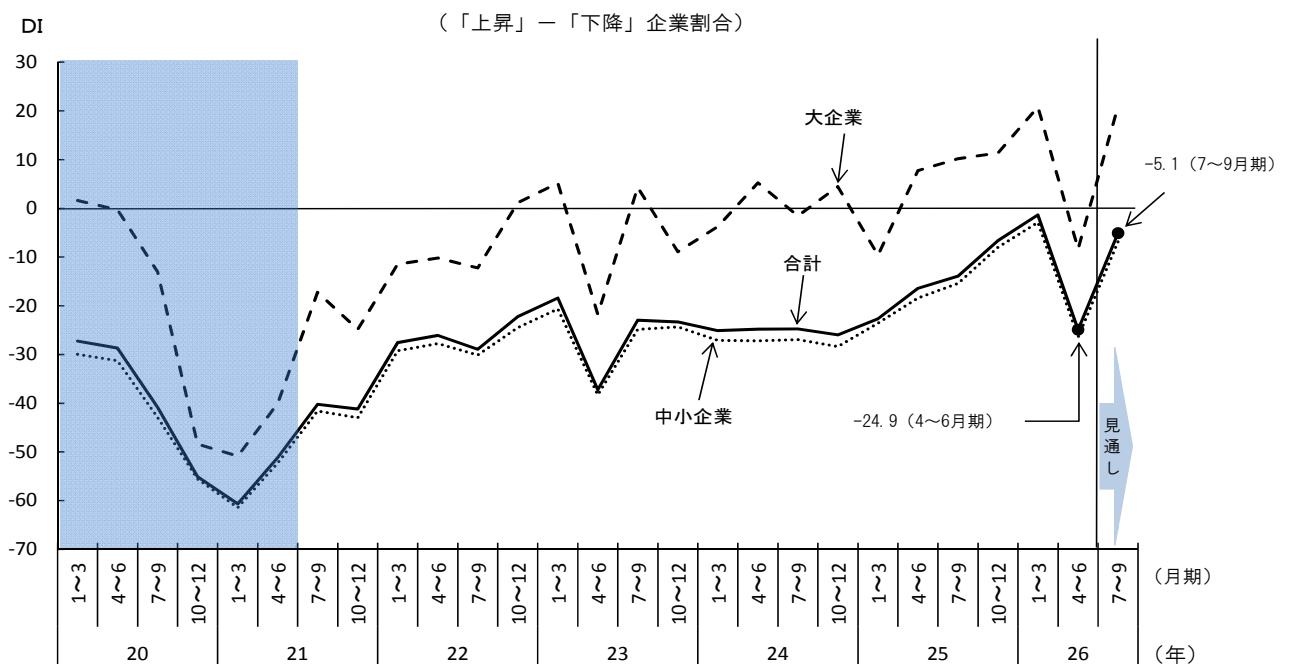
1. 業況判断DIは、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減から、業種・規模を問わず日本大震災直後（23年4～6月期）以来の大幅な悪化となり、回復基調が鈍化した。

業況判断DIの推移（前期比、季節調整済、製造業・非製造業別）



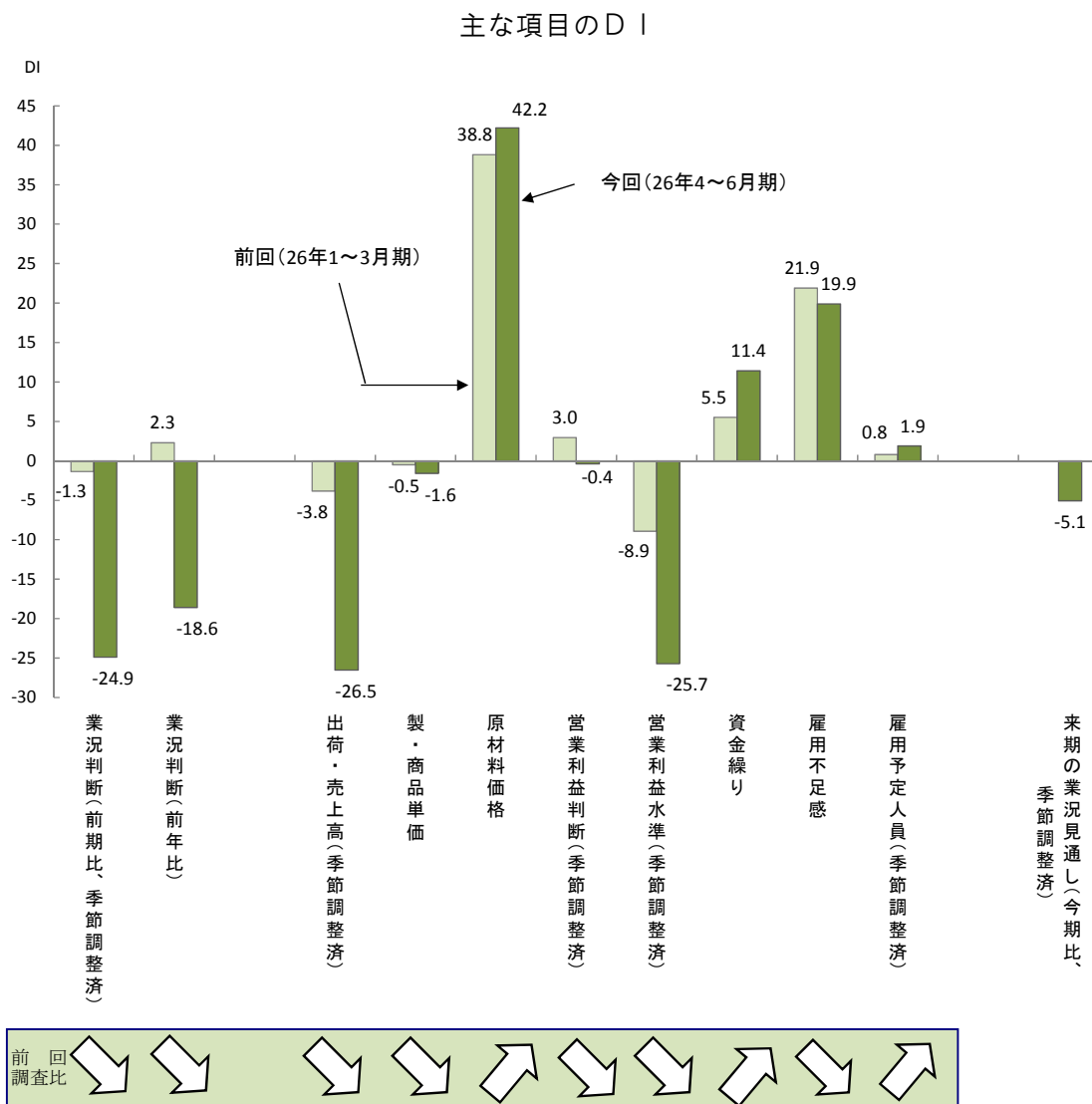
※シャドー部分は大阪産業経済リサーチセンターが設定した景気後退期を示す。

業況判断DIの推移（前期比、季節調整済、大企業・中小企業別）



※シャドー部分は大阪産業経済リサーチセンターが設定した景気後退期を示す。

2. 主な項目のDIをみると、出荷・売上高、営業利益水準が大幅に落ち込み、営業利益判断も大企業や非製造業を中心にマイナス幅が拡大し、全体の回復の動きに一服感がみられた。ただし、資金繰りが改善したほか、雇用面でも製造業の不足感が顕著で、来期も製造業で雇用増の勢いが強まっている。なお、来期の業況は、反動減からの急激な回復が見込まれており、DIのマイナス幅は大幅に縮小する見通しである。



3. 26年7~9月期の業況DIは、大企業・非製造業を中心に大きく改善し、DIはV字回復の見込み。

業況判断DIの推移(来期見通し)

年	24				25				26		
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9
製造業	-19.3	-20.2	-23.9	-20.5	-21.9	-15.0	-8.6	-3.4	6.0	-15.0	-9.2
非製造業	-28.5	-26.9	-25.1	-28.4	-23.5	-17.0	-16.7	-7.9	-5.2	-29.7	-4.8
大企業	-3.8	5.3	-1.5	4.5	-9.6	7.7	10.2	11.4	20.8	-8.4	21.0
中小企業	-27.1	-27.2	-27.0	-28.4	-23.6	-18.4	-15.4	-8.0	-2.9	-26.4	-6.8
合計	-25.1	-24.8	-24.8	-26.0	-22.7	-16.4	-13.9	-6.6	-1.3	-24.9	-5.1

来期見通し